

2.

すべての子どもに

必要不可欠な物資を



カメルーン北部のミナワオ難民キャンプで、ユニセフから配布されたリュックを背負い下校する子どもたち。ナイジェリア北東部地域での紛争と暴力は、多くの人たちに避難を強いる人道危機を引き起こした

かつてない困難と危機が子どもたちを襲った2016年、ユニセフは、戦略的思考と技術力を駆使し、創意工夫を凝らして、最も支援を必要とする「時」と「場所」に必要な物資と一貫したサービスを提供しました。また、市場への影響力を活かし、さらに戦略的に焦点を絞ることで大幅な効率化を達成し、立場の弱い子どもたちやその家族に費用対効果と質の高い物資を提供するなど、主導的な支援機関にふさわしい活動を引き続き行ってきました。

2016年にユニセフが実施したさまざまな物資支援活動を以下にご紹介します。緊急人道支援から持続可能な開発のための将来を見据えた支援まで、幅広い分野にまたがっていますが、支援を必要とする子どもたちあるいは危険にさらされている子どもたち全員に支援を届けるという責務が根底にあることはどの活動にも共通しています。

緊急時、72時間以内に届ける

ユニセフでは、通常時の支援で提供する物資やサービスのほとんどを独自に調達しています。人道危機下においては、こうした支援物資を迅速かつ効果的に届ける能力が試されます。突然発生した緊急事態であっても、常に48時間以内に第一陣の出荷準備を行い、72時間以内に被支援国のエントリーポイントに届けました。

中央アフリカ共和国、イラク、南スーダン、シリア、イエメンなど大規模な危機への支援物資も含め、緊急支

下：イラク・モスル東部でユニセフとWFPからの支援物資を受け取る家族



@UNICEF: イノベーション 2016
#UNICEFinnovate

2月、低中所得国の脆弱な立場にある子どもたちの喫緊の課題を解決するため、新たなアプローチの開発を支援するユニセフ・イノベーション・ファンドにおいて、技術系ベンチャー事業の募集が行われました。投資対象としては、学習成果の改善や若者の参加の促進、子どもの福祉に関するリアルタイムのデータ、若者のサービス情報へのアクセス向上に寄与する製品やアプリケーションが中心となっています。

援のために調達した物資は総額3億7,900万ドル以上に上ります。さらに、ナイジェリア向けのポリオワクチンや緊急時の栄養補助食、ハリケーン「マシュー」が襲来したハイチやマグニチュード7.8の地震が発生したエクアドルの被災家族への生活必需品、アンゴラやコンゴ民主共和国で急遽必要となった黄熱病ワクチン、ヨーロッパの移民・難民の子どもたちに必要な支援も提供しています。

調達した物資は、貨物輸送業者やパートナーの支援の下、順調に輸送・配布することができました。米国の物流会社UPSの基金からはエクアドル、ハイチ、南スーダンへの空輸用に、パナルピナ航空貨物会社からはチャドへの物資配送用に、航空貨物倉が無料で貸し出されるなど緊急支援への協力を得ています。

安全な水と衛生環境

脆弱な地域において水と衛生の物資の需要が拡大する中、ユニセフは2016年、1億820万ドル分の調達を行いました。100万個を越える衛生キットのほか、約15億個の浄水剤と水350億リットルを浄水可能な凝集沈殿剤・塩素消毒剤を購入するなど、さまざまな資材を調達しています。

環境にやさしい持続可能な解決策も視野に入れ、太陽光発電を用いた揚水ポンプの調達と利用の国際評価も行いました。その結果、ソーラー揚水技術の多用途性と有効性が明らかになりました。

母子の健康のための物資調達

命を救うワクチン等の医療物資・保健サービスの調達に関しては、世界中どこで緊急事態が発生しても迅速に対応できるよう整備しています。2016年の保健関連の調達は総額22億ドルに上りました。

その半分以上はワクチン購入費です。16億ドルを支出して25億回分のワクチンを購入し、世界の5歳未満の子どもの45%に予防接種を行い

ました。また、GAVIアライアンス（ワクチンと予防接種のための世界同盟）のパートナーシップの下、ビル&メリнда・ゲイツ財団らと協力し、予防可能でも発症すれば死に至る可能性がある5つの疾患から子どもたちを守る5価ワクチンの価格を半減させることに成功しました。

こうした価格低減は、最貧困国の予防接種を支援するドナーの援助資金や独自にワクチンを購入している低中所得国政府の公的資金の削減につながります。2016年の削減総額は5億8,800万ドルに達しました。

また、ジカウイルスのワクチン開発や診断ツールに関するコンサルティングなど、ワクチン製造者やパートナーとの国際協議を通して、市場への働きかけも引き続き行いました。

その他にも、予防接種のための安全な注射器6億9,130万本、マラリアから子どもと家族を守るために殺虫剤処理を施した蚊帳4,130万張、1億6,060万ドル相当の医薬品（HIV/エイズ予防・治療用抗レトロウイルス薬4,950万ドル含む）など、さまざまな保健医療物資を調達しました。

栄養治療食

2016年にユニセフが調達した栄養改善関連物資は、総額1億5,100万ドルに上ります。最も支援を必要とする子どもたちのため、すぐ口のできる栄養補助食品（RUTF）の現地調達を増やしました。

現地調達にした場合、低所得国の経済開発を促進して格差を是正することができます。そのため、栄養改善だけでなく、その他すべてのプログラム分野の発展に寄与することができるのです。

例えば、15年前は世界のRUTF生産はすべてヨーロッパの一企業が独占していましたが、ユニセフはパートナーや現地業者と協力し、子どもの栄養不良率が高い国を中心に仕入先を拡大してきました。2016年には18業者から3万3,330トンのRUTFを調達しています。このうち56%は支援国での現地調達です。また、微量栄養素パウダーを12億袋調達し、ビタミンA補給剤を4億2,900万個配布しています。

教育分野

教育分野において2016年にユニセフが調達した物資は、8,380万ドルに上ります。こうした支援物資の中には、63カ国に配布した11万9,000個近くの教育キット（レクリエーションや乳幼児期の子どもの発達のためのキット、標準教材キットや国別教材キットなど）も含まれています。

また、インクルーシブな（誰もが受け入れられる）教育を目指すというユニセフの目標が示す通り、虫眼鏡、鈴入りの空気注入式ボール、点字資料など、バリアフリーアイテムを教育キットに追加しています。

またユニセフは、学校の新設・改修プロジェクトも数多く支援しています。教育や子どもの保護、保健、栄養、水と衛生（WASH）など、すべての支援分野で施設建設を支援していますが、2016年はこうした取り組みが記録的に増加しました。建設プロジェクトのほとんどは、緊急事態あるいは紛争後の状態にある国で行われています。



左：アフガニスタン・カブールの病院で、重度栄養不良の治療を受け笑顔を見せる2歳のサムウラーちゃん